

囚われの  
アーティスト

パレスチナ・ガザの画家たち展

10/16<sup>FRI</sup> ~ 12/6<sup>SUN</sup>

田川市美術館

開館時間 9:30 ~ 17:30 ※入館は閉館の30分前まで  
休館日 月曜日（祝日の場合はその翌日）  
観覧料 一般 200円（100円）／高校生以下無料

※田川市在住の方は、身分証明書を提示していただくと（ ）内の料金で入館が可能 ※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方、およびその介助者1名は無料  
お問い合わせ：田川市美術館 〒825-0016 福岡県田川市新町 11-56 Tel 0947-42-6161 <https://www.tagawa-art.jp/>



田川市美術館  
TAGAWA MUSEUM OF ART

# パレスチナ・ガザの画家たち展

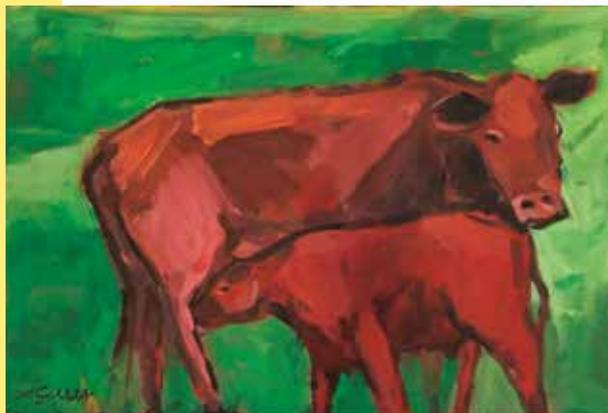
ガザの子どもたちの作品も展示

## 「囚われのアーティスト」

田川市美術館では2017年6月に「上條陽子とパレスチナの子どもたち」展を開催しました。今回は上條氏とのつながりから、「パレスチナのハートアートプロジェクト<sup>※</sup>」に関わりのあるパレスチナ・ガザの画家三人と子どもたちの作品を紹介します。

私たちの住む田川の街はパレスチナに相通ずるものがあります。過去のことかも知れませんが抗い続けた歴史です。パレスチナ・ガザは高い壁に囲まれています。筑豊田川も然り。壁こそありませんが陸の孤島と呼ばれていたのは遠い昔の事ではありません。ただ違うのは自由への渴望です。過酷な境遇の下で暮らしている画家、子どもたちの絵は鮮やかな色彩に溢れ、微塵の悲壮感もありません。

彼らの作品に直接触れることを手掛かりに、パレスチナについて理解を深め、自由や平和、芸術の意義について考える機会となれば幸いです。



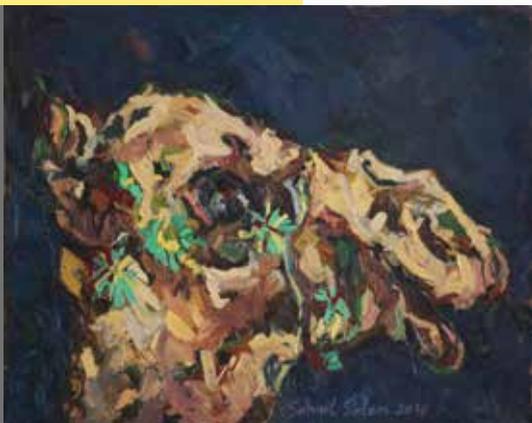
**Mohammad Al-Hawajri**  
モハメド・アル・ハワジリ

1976年、ガザ難民キャンプで生まれる。エジプト・フランス・スペインなど多くの国から展覧会に招待出品。



**Raed Issa**  
ライエッド・イサ

1975年、ガザの難民キャンプで生まれる。ガザの現代美術エルチカグループの創立者の一人。国外で活躍。イタリアローマの国際美術賞を受賞。



**Sohail Salem**  
ソヘイル・セレイム

1974年、ガザで生まれる。アルアクサ大学美術学士号取得。フランス他、国外から招待出品。



### ※パレスチナのハートアートプロジェクト (PHAP) とは

2001年レバノンのパレスチナ難民キャンプでの絵画指導をきっかけに現代表上條陽子氏により立ち上げられました。主に現地パレスチナ難民キャンプでの絵画指導、日本国内での発表を続けています。

## ガザとはどんなところ？



ガザとは、パレスチナ南西端、シナイ半島の北東に接し地中海沿いに長さ約45km、幅6～10kmの区域のこと。1993年にイスラエルとPLO(パレスチナ解放機構)の間で結ばれた「オスロ合意」により、翌年ガザ地区は、ヨルダン川西岸地区と共に「パレスチナ自治区」になる。しかし現在ガザはイスラエルに軍事封鎖されている。イスラエルは2008、2009、2012、2014年とガザに大規模軍事侵攻を行い、大きな被害をもたらした。ガザの出入口は、北のエレッツと南のラファの2カ所のみ。境界は高さ8mの壁に囲まれ、海上も封鎖されている。出入国はイスラエルのコントロール下にあり、パレスチナ人がガザを出入りする自由はない。まさに「屋根のない刑務所」である。

参考：ブリタニカ国際大百科事典 小項目事典

## アクセス



- ★天神・博多方面から
  - 【バス】天神高速バスターミナル(福岡県立大学行) ▶ 石炭記念公園下車 徒歩約8分
  - 【電車】博多駅(福北ゆたか線) ▶ 新飯塚駅(後藤線) ▶ 田川後藤寺駅下車 タクシー約8分
- ★小倉方面から
  - 【電車】小倉駅(日田彦山線) ▶ 田川伊田駅下車 タクシー約6分

